



愛知県政記者クラブ
中部芸術文化記者クラブ 同時

2022年9月27日(火)
国際芸術祭「あいち」組織委員会
電話：052-971-3111(代表)
内線：724-702、724-688

国際芸術祭「あいち2022」トークイベント

「ローリー・アンダーソン アーティストトーク」を開催します！

国際芸術祭「あいち2022」では、会期最終日となる10月10日(月・祝)に、参加アーティストのローリー・アンダーソンをゲストに迎え、トークイベントを開催します。没入型のインスタレーションにVRを組み込んだ本展展示作品《トゥー・ザ・ムーン》や、「あいち2022」のテーマ「STILL ALIVE」などについて語ります。申込の受付は10月1日(土)午前10時に開始します。是非御参加ください。

1 概要

(1) 日時

2022年10月10日(月・祝) 午前10時30分から正午まで

(2) 場所

愛知芸術文化センター アートスペースA
(名古屋市東区東桜1-13-2 12階)

(3) 参加費

無料(要事前申込)

(4) 申込方法・定員

- ・受付開始：10月1日(土) 午前10時
- ・申込先URL：<https://reserva.be/aichi2022>
- ・定員：100名(先着順)



申込先URL

(5) 登壇者

- ・ローリー・アンダーソン(国際芸術祭「あいち2022」参加アーティスト)
※オンラインによる参加
 - ・片岡真実(国際芸術祭「あいち2022」芸術監督)
 - ・前田圭蔵(国際芸術祭「あいち2022」パフォーマンスアーツ・アドバイザー)
- 【日本語による逐次通訳あり】

(6) アーカイブの配信について

本イベントは、後日公式ウェブサイトにてアーカイブを公開いたします。

2 ゲストの略歴・作品内容

ローリー・アンダーソン

1947年シカゴ（米国）生まれ。ニューヨーク（米国）拠点。

パフォーマー、演奏家、作曲家、作家、映画監督、ビジュアル・アーティストといった多彩な顔を持つアーティスト。1970年代よりコンセプチュアル・アート等に触発され、美術、劇場、実験音楽、テクノロジーなど多領域で活動を行う。言語、音声、身体表現とテクノロジーの関係性に着目したパフォーマンスを次々と展開。「オー・スーパーマン」(1981)以降の長い経歴には、「ホーム・オブ・ザ・ブレイヴ」(1986年)や「ライフ・オン・ア・ストリング」(2002年)が含まれる。日本へは1984年に初来日し、東京と大阪で公演を行う。

2002年には《トゥー・ザ・ムーン》につながるNASA初のアーティスト・イン・レジデンス、2005年に愛知県で開催された世界博「愛・地球博」では、委嘱インスタレーション作品《WALK》やパフォーマンス作品《10枚のポストカード》を上演。さらに同年、NTTインターコミュニケーションセンター [ICC] にて日本での初個展「時間の記録」も開催。最新の大規模個展はスミソニアン／ハーシュホーン美術館（2022年、ワシントンD.C.）での「The Weather」。

《トゥー・ザ・ムーン》

「あいち 2022」で展示する《トゥー・ザ・ムーン》は、ローリー・アンダーソン&黄心健（ホアン・シンチェン）両アーティストによるコラボレーションの最新作。デンマークのルイジアナ近代美術館による委嘱作品で、来場者はVRで作品を体験した。没入型のインスタレーションにVRが組み込まれた本展で展示されるバージョンは、2019年にマンチェスター国際フェスティバルで初めて発表された。



国際芸術祭「あいち 2022」展示風景
《トゥー・ザ・ムーン》 2019
Photo: ToLoLo studio

3 問合せ先

国際芸術祭「あいち」組織委員会事務局

（愛知県県民文化局文化芸術課国際芸術祭推進室内）

住所：〒461-8525 名古屋市東区東桜一丁目 13-2 愛知芸術文化センター内

電話：052-971-3111

FAX：052-971-6115

URL：<https://aichitriennale.jp/>